

東部の窓 ～校長室だより～



豊川市立東部小学校

令和7年6月16日

【←野外活動光の舞練習風景・5年】

修学旅行 奈良・京都へ（6/5、6）

「今鹿できない思い出を～ほな京都と奈良に歴史を学びにおいでやす～」このスローガンのもと、子どもたちは、見学各所や旅館などで級友とともに学び、仲間との絆を深めることができました。1日目の見学地は法隆寺と奈良公園。世界最古の木造建築物に魅了され、大仏の大きさに圧倒されていました。旅館ではおいしい食事をいただき、舞妓鑑賞の体験を満喫しました。2日目は、早朝の鴨川沿いの散歩からスタート。その後、京都市内を回りました。清水寺の舞台の高さに驚き、二条城、金閣寺と、歴史的建造物を目の当たりにし、歴史の奥深さを感じたようでした。

「『年輪』という言葉聞いたことがありますか。年輪とは樹木の断面にできる円の形をした模様のことです。成長輪とも言います。木は1年ずつ成長していきながら輪を増やしていきます。年輪という言葉があるのであれば、「日輪（にちりん）」という言葉があってもいいのではないかと私は思います。一日一日を前向きに活動していくことで、一日ずつ成長の輪が広がっていくと思います。修学旅行中、一つ一つの取組に目的と意味を確認しながら行動し、一瞬一瞬を大切にしていくことで、日輪という成長輪がこの2日間で広がっていくこととなります。是非みなさんの成長する姿を期待しています。」これは、修学旅行の出発式で子どもたちに話した内容です。6年生は、見学地の各所で熱心に見聞し、旅館やバスの中などでも礼儀正しく過ごしていました。京都と奈良に赴き歴史を学んだことで、まさに、「今鹿（奈良の鹿の見学だけに…）できない思い出を」つくることができました。今後の6年生の活躍が今から楽しみです。



ペア活動・各学年スタート！

東部小のキャッチフレーズは「東部小に集まるみんなの笑顔があふれる学校に」です。今年も異学年どうしが交流するペア活動に力を入れています。同学年どうしでは見られない気遣いや温かな言葉かけが期待でき、心の成長につながります。各ペア学年の中で手作りの名刺を交換しました。色鉛筆できれいに塗られているものもあり、心がこもっていることが伝わってきました。その後ペアごとで写真撮影をしたり、楽しいゲームなどを行ったりしました。終了後の子どもたちの笑顔から、今年一年の活動の充実を予感されました。

ところで、子どもたち自身が「感謝」される場面とはどんな時でしょうか。それは人に優しくした時のような同学年の時もありますが、異学年の時にこそ多く感じることができると思います。例えば、6年生が1年生の子の面倒をしっかりと見たとします。1年生の子はきっと素直に「ありがとう」と言うでしょう。そんな時6年生の子どもたちは、自己存在感を感じます。この「人をお世話する」という活動はとても大きな意味をもっていると思うのです。東部小で取り組んでいるペア活動は、人間関係を形成し深める場です。学級を超えた異集団の活動は、全員が行うことができ、より感謝する、感謝されることにつながります。また、人から感謝される経験の積み重ねは、きっと自己有用感の形成につながると思います。



水泳授業・民間プール利用

豊川市では本年度より、屋内プールを使用して、インストラクターと教師が協力して指導にあたることにより、水泳授業の質の向上を目指し、「民間スイミングスクールを活用した水泳授業のモデル事業」を行っています。東部小は、「コパンスポーツクラブ豊川」において、全学年5月19日から6月13日にかけて、水泳授業を実施しました。現地までは市が契約しているマイクロバスで移動です。各学年1回の来場につき、休憩をはさんで2時間分の活動を行いました。充実した施設で、安全・安心な水泳授業を行うことができると同時に、水泳指導のプロであるインストラクターと教師が協力して子どもたちを指導することで、楽しく、効果的に活動することにつながりました。毎回「大人ちょボラ」の方々が、見学する子どもたちの見守りやお手伝いなどをしていただき大変助かりました。ご協力ありがとうございました。

次年度以降も民間プールを利用しての水泳授業が行われます。



【学校から・再度のお願い】

ご家庭の事情により、お車でお子さんを送迎されたり、用事で来校されたりするときなど、体育館側の駐車場をご利用される場合、**正門から入場**をしてください。全校児童の登校後は、安全管理上門は閉めます。登校後に来場される場合は、お手数ですが**正門を開けてからお入りください**。なお、**お帰りの際には門を閉じてくださる**よう、ご協力ください。

※**北西側の通用門（学習用畑側）**については、畑での活動・学習のため、今後児童が通行する機会が増えます。また、朝夕などは職員の車の往来があります。事故防止等の理由から、**こちらの門のお車での入退場は、なるべく控えていただけると幸いです**。ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

東部っ子・フォトギャラリー

笑顔があふれる東部っ子のみなさんを紹介！（OSA.T）

